

地域づくりとG空間情報

- ・数々の災害を経験した地域づくり
- ・オープンデータ利用術について
- ・地域に眠る資源の戦略的な活用方策



【講演者概要】※詳細は裏面をご覧ください

■基調講演

東京大学 生産技術研究所
准教授 関本 義 秀 氏

■特別講演

会津若松市企画政策部 秘書広聴課
副主幹 伊 藤 文 徳 氏

■講 演

新潟県立大学国際地域学部国際地域学科
准教授 関 谷 浩 史 氏

富山大学都市デザイン学部都市・交通学科
准教授 井ノ口 宗 成 氏



＜アクセス方法＞

新潟駅から路線バスで15分
(佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車)
タクシー 5分/徒歩 20分

名 称	第12回 特別講演セミナー「地域づくりとG空間情報」
日程/時間	令和2年1月16日(木) 受付9:20～ 講演10:00～17:00 (詳細裏面)
場 所	ホテル日航新潟 新潟市中央区万代島5番1号 TEL 025-240-1888
参加費/定員	参加費 無料 / 定員 200名
主催/共催	にいがたGIS協議会 一般社団法人地理情報システム学会 (申請中)
後 援	国土地理院北陸地方測量部 新潟県IT&ITS推進協議会 公益財団法人にいがた産業創造機構 新潟県IT産業ネットワーク21

「地域づくりとG空間情報」～オープンデータはどのように役立つのか～ ご挨拶とセミナー参加へのお誘い

近年、地域づくりを行う上でG空間情報(GIS)の活用が少しずつ広がりを見せております。特に自治体においてはGISなどのツールの普及が進み、重要な意思決定をする際の「みえる化」情報として用いられることも増えてきています。

しかし、ツールとしてのGISソフトウェアはフリー製品も登場したり低廉化や機能の強化などが進んだりしておりますが、そのソフトウェアに搭載する基礎的情報であるデータ資源の拡充はまだまだ時間を要する状況です。

特に自治体から発信され、自由にダウンロードできるオープンデータは地域づくりの場面では主役の情報となっており、大学関係者や地域活性のファシリテータの方々の利用が進んでおります。

これら地域づくりの基礎をなす地図データを用いた空間思考を実践するためにも、これからは市民が自由に使えるオープン化の重要性が高まっています。

これらの課題解決策としてオープンデータを含むデータ利用環境の整備を進め、基礎的情報のコストを削減し、有効活用を促進することで、地方の創意工夫による地域づくりを後押しすることが重要です。

従来、行政内での都市計画、まちづくり、環境対策、農林業、防災対策など利用や産業界でのマーケティング関連での利用が主流でしたが、近年では社会動勢、福祉介護、資源、交通、犯罪抑制、気象など、リアルタイム情報もオープンデータ化が登場して、実生活に密着する分野での市民の利用も一部で可能になってきました。

このような動静を踏まえ、当協議会では利用可能なデータやGISの新たな可能性を模索するため、オープンデータと関連させてGISを展望する機会を今般つくりました。お時間の許す限り皆さまお誘いの上、是非ともお越しください。ご来場を楽しみにお待ちしております。

にいがたGIS協議会 会長 坂 井 宏 子

◆ 申込方法

別紙のセミナー参加申込書に必要事項をご記入のうえ、メール、FAX、にいがたGIS協議会ホームページのいずれかでお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

- メール : nga_office@niigatagis.com
- F A X : 025-285-6699
- にいがたGIS協議会ホームページ : <http://www.niigatagis.com/>

※お申し込みの際は、申し込み確認用(返信用)のメールアドレスを必ずご記載ください。

◆申込期限 令和元年1月10日(金)

◆問合せ先 にいがたGIS協議会事務局(株式会社プレス内) 長谷川、坂井、武藤宛

〒950-0954 新潟市中央区美咲町1丁目4-15

TEL : 025-282-2600 FAX : 025-285-6699 E-mail : nga_office@niigatagis.com



豊かな県土を**GIS**で創ります

GIS技術

GISは地図を電子化しPCなどで簡単に使える仕組みです。紙地図と異なり、更新や加工を手軽に行えます。また、データベースと連携させることができ、文字や写真、ファイルなどの連携もできます。

位置情報

ひと、もの、こと、場を管理する情報のことです。座標や緯度経度で位置を表します。

データベース技術

データのある一定の基準で整理して利用しやすい構造とした仕組みのことをデータベースと呼びます。GISを活用する際に裏側で動いているもの、各種の台帳管理などではこの技術が重視されています。

プラットフォーム技術

地理空間情報を活用するための基盤で、GISの多様化に対し、GISのすべてを包括させるための仕組みです。あらゆる環境、データ、場面にとられることなく使いやすい情報基盤です。

〇 協議会会員企業

正会員

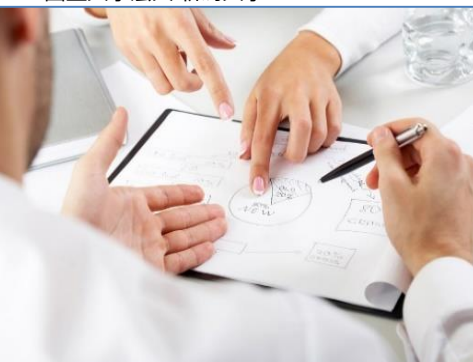
株式会社BSNアイネット
株式会社キタック
金井度量衡株式会社
株式会社プレス

賛助会員

インクリメント・ピー株式会社
ESRIジャパン株式会社
株式会社NTTデータCCS
グローバル・サーベイ株式会社
株式会社GISリサーチアソシエイツ
株式会社T-Base-Life
ファインロードコンサルタント株式会社

特別会員

国立大学法人 新潟大学



にいがたGIS協議会 特別講演セミナー 開催プログラム・スケジュール

全日の部

10:00-17:00

会員企業 賛助会員企業

各社の最新技術を紹介したパンフレット

入り口正面に会員企業、賛助会員企業の最新技術を紹介したパンフレットがございます。是非、手に取ってご覧ください。

午前の部

10:05-11:35

賛助会員企業

賛助会員企業の最新技術を紹介いたします

各社プレセミナー

講 演 ESRIジャパン株式会社
パートナー推進グループ 部長 山 口 格 氏
「GISで実現するオープンデータの活用と今後について」

講 演 株式会社NTTデータCCS
ビジネスソリューション事業本部科学環境システム事業部営業部 今 井 淳 氏
「農業および危機管理分野におけるAI・画像処理への取り組み」

説 明 休憩時間や午後のプログラムの説明

休憩

11:40-13:00

休憩

休憩・食事のためしばらく閉場いたします

講演会場 閉場（12:30受付開始・開場）

午後の部

13:00-13:10

主催者挨拶

GIS協議会活動についてご紹介いたします

挨拶 にいがたGIS協議会 会長 坂 井 宏 子

午後の部

13:10-14:10

基調講演

スマートシティを支えるG空間情報の事例を紹介いたします

基調講演 東京大学 生産技術研究所 准教授 関 本 義 秀 氏
「デジタルスマートシティ～創発的な都市イノベーションを支える情報基盤の取り組み」



午後の部

14:10-15:05

特別講演

会津若松市で実践した様々な事例を紹介いたします

特別講演 会津若松市企画政策部 秘書広聴課・地域情報化アドバイザー
副主幹 伊 藤 文 徳 氏
「福島県会津若松市におけるG空間情報を活用した地域づくりへの挑戦」



休憩

15:05-15:20

休憩

15分間の休憩、所用をお済ませください

午後の部

15:20-16:10

講演 1

地域の未利用資源を掘起こし活用した事例を紹介いたします

講演 1 新潟県立大学 国際地域学部 国際地域学科
准教授 関 谷 浩 史 氏
「オープンデータを活用した地域の未利用資源にむけた戦略的活用」



午後の部

16:10-17:00

講演 2

安心安全の観点からオープンデータをご紹介いたします

講演 2 富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科
准教授 井ノ口 宗 成 氏
「安心・安全な地域のためのオープンデータ利活用方策（仮題）」

